妖女の時代（1988）

メディア 映画
ジャンル サスペンス　ドラマ
製作国 日本
色彩 Color
時間 107分
初公開日 1988/10/29
公開情報 東宝

【解説】
遠藤周作の小説『妖女のごとく』を、大森一樹が脚色し長崎俊一が監督した。本多俊之が音楽を担当。
製薬会社を退職し自由な時間を謳歌する辰野吾郎は、大企業の跡取り息子である柳沢徹から、麻酔医の大河内葉子の身辺調査を依頼される。吾郎の大学時代の友人である徹は、葉子との結婚を望んでいた。吾郎はさっそく調査を開始、病院での評判は良かったが、葉子は夜になるとホストクラブに通い、マンションに連れ込んだホストを麻酔づけにしてSMプレイに興じていたのだ。葉子には宮沢裕子という双子の姉がいて、妹は二重人格でありながら自覚がないのだと証言した。そんなとき、葉子が勤める病院の看護婦と、葉子が通うホストクラブのホストが、それぞれ他殺体で発見され…。

【クレジット】

監督	長崎俊一	
製作	巻幡辰男	
企画	中島英郎	
	宮坂進	
製作総指揮	村上七郎	
プロデューサー	相原幹	
	神野智	
原作	遠藤周作	
脚本	大森一樹	
撮影	安藤庄平	
美術	小川富美夫	
編集	大島ともよ	
音楽	本多俊之	
音楽プロデューサー	梶原浩史	
助監督	松本泰生	
出演	名取裕子	
	片岡鶴太郎	
	小西博之	Hiroyuki Konishi
	沖田浩之	
	蟹江敬三	
	田中邦衛	
	内藤剛志	
	賀来千香子	
	山田辰夫	

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.